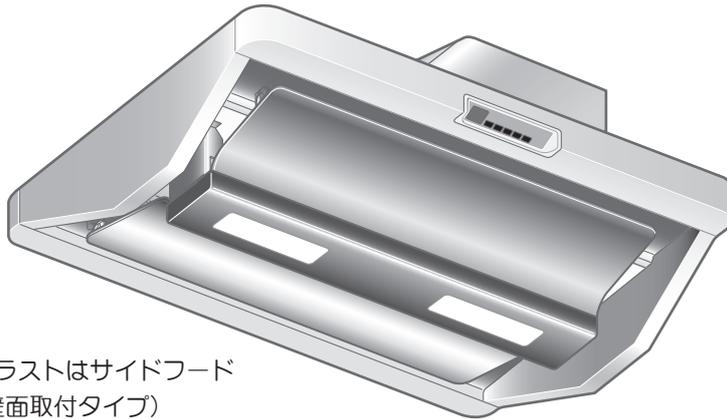
レンジフード

ツインフラットシリーズ

取扱説明書

イラストはサイドフード
（壁面取付タイプ）

もくじ

販売店・工事店様へ：
この取扱説明書は取り付け後、施主様へ必ずお渡しください。

このたびはレンジフードをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用される前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは取付説明書とともにいつでも見られるところに大切に保管してください。

1302 6681

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の２つに区別しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告 ：**人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。**

⚠注意 ：**人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。**

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例

⃠ 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

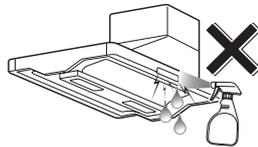
● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

分解・修理・改造禁止

● **修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造はしないこと**
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります

水かけ禁止

● **電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**
ショート・感電のおそれがあります

濡れ手禁止

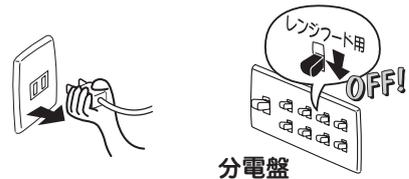
● **電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししないこと**
感電やけがをするおそれがあります

操作禁止

● **ガス漏れのときは、スイッチを操作しないこと**
爆発・引火のおそれがあります

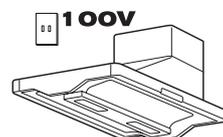
プラグを抜く

● **お手入れやランプ交換の際は必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること**
感電やけがをするおそれがあります

分電盤

ほこりをとる

● **電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと**
火災の原因になります

使用禁止

● **交流 100 V以外では使用しないこと**
火災・感電の原因になります

安全上のご注意

⚠注意

プラグを
持って抜く

● **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと**

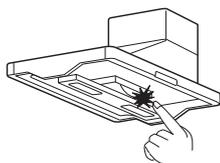
コードにキズが付き、
火災や感電の原因に
なります

運転停止

● **調理中、油に火がついたときは、運転を止めること**

運転をしていると、
火の勢いがより強く
なり火災の原因にな
ります

接触禁止

● **運転中は指や物を絶対に入れないこと**

けがをするおそれが
あります

手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**

鋼板の切り口や角で
けがをするおそれが
あります

使用禁止

● **指定以外のランプを使わないこと**

ランプカバー周辺が高温となり、
やけどをするおそれがあります
また、火災や故障の原因になります

禁　止

● **レンジフードの上に物を置かないこと**

落下によりけが
をしたり、火災
や故障の原因に
なります

落下注意

● **部品の取り付けまたは取りはずしの際は、部品を落とさないように両手でしっかりと支えること**

落下するとけがをしたり、部品のキズ・
変形の原因になります

プラグを
抜く

● **長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること**

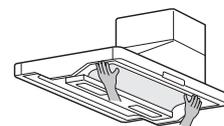
絶縁劣化による感電
や漏電火災の原因に
なります

接触禁止

● **調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと**

整流板や部品が
落下して、やけ
どやけがをする
おそれがあります

取付注意

● **お手入れの際にはずした整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと**

落下によりけがを
するおそれがあり
ます

使用禁止

● **本体に異常な振動が発生した場合、使用しないこと**

本体・部品の落下によりけがをする
おそれがあります

高温注意

● **ランプ交換の際は、ガラスやランプが十分冷めてからおこなうこと**

やけどをするおそれがあります

直視禁止

● **点灯中のLEDランプを直視しないこと**

目を傷めるおそれがあります

落下注意

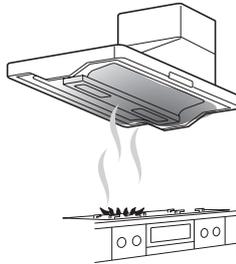
● **整流板を本体から取りはずさずに、下図のような状態でお手入れをしないこと**

落下するとけがを
したり、部品の
キズ・変形の原因
になります

使用上のお願い

● **調理機器を使用するときは、必ずレンジフードを運転してください**
運転しないとフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因になります

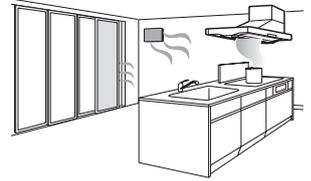
● **部屋の扉や窓からの風が強い場合には、横風等の影響で煙の捕集性能が悪くなる場合があります**
レンジフード近辺の扉や窓からの横風等の影響がないようにしてください

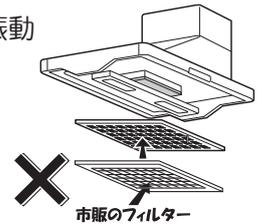
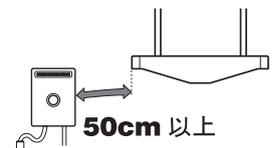
● **調理機器の空焚きは絶対にしないでください**
製品の損傷や高熱による故障の原因になります

● **ＩＨクッキングヒーター（電気コンロ）を使用時、レンジフードがあたたまりにくいため､結露（水滴）が生じることがあります**
お手数ですがその際は滴下する前に拭き取ってご使用ください
特に冬期など気温の低い状況では結露が発生しやすくなりますのでご注意ください

● **グリル付の調理機器と合わせて使用する場合、グリル排気口から出る煙によって、壁パネルもしくはランプカバー表面が結露することがあります**
結露した場合は拭き取ってご使用ください

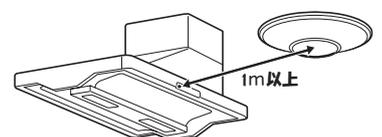
● **キッチンの気温が低いときに使用された場合にはレンジフードの表面が結露することがあります**
結露した場合は拭き取ってご使用ください

● **テレビ・エアコンなどのワイヤレス発信器を操作しているときは、換気連動システムが正常に動作しない場合がありますが、故障ではありません**

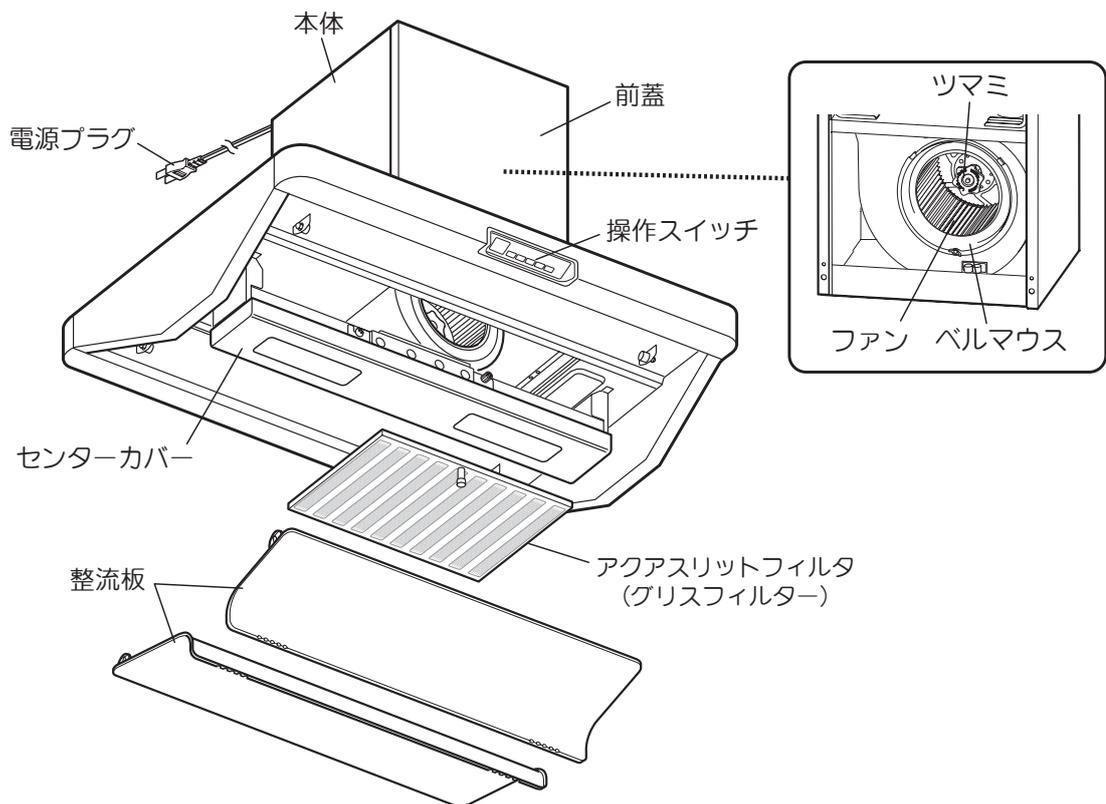
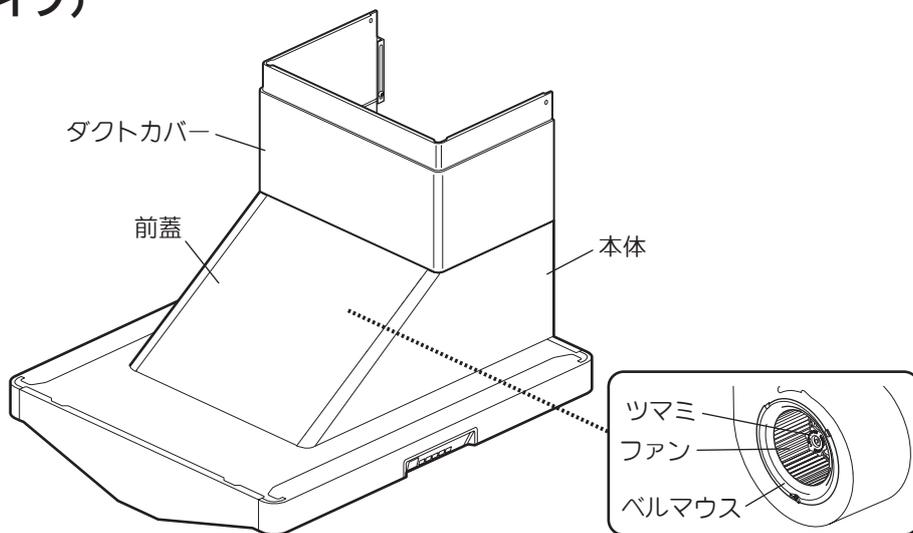
● **レンジフードの運転中は給気をおこなってください**
レンジフード反対側の壁に空気の取入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください
空気の取り入れが不十分ですと換気性能が低下したり、レンジフードに異音・振動が発生する場合があります

● **エアコンの風が直接あたらないようにしてください**
風を受けると、吸い込みが悪くなります
オープンな場所では特にレンジフードから漏れやすくなります

● **市販のフィルターに交換したり、重ねて使用しないでください**
吸い込みが悪くなり、異音・振動が発生する場合があります
性能を維持するため、専用のアクアスリットフィルタをご使用ください

● **湯沸器はレンジフードから 50㎝ 以上離してください**
レンジフードの下部には湯沸器を絶対に取り付けないでください
製品の損傷や高熱による故障の原因になります

● **アクアスリットフィルタが調理機器の真上 85㎝ 以上に取り付けてあるか確認してください**
火災予防のため、火災予防条例ではグリスフィルターの下端が調理機器の真上、80㎝ 以上必要です

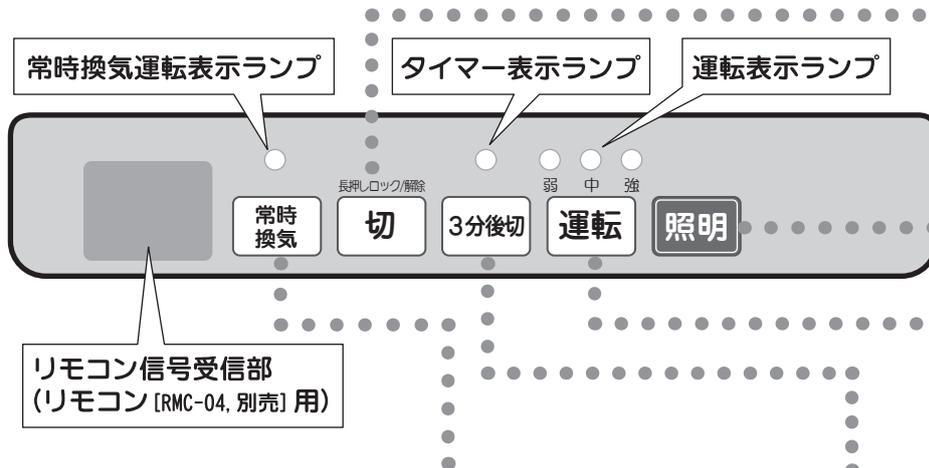
● **整流板をはずして使用しないでください**
吸い込みが悪くなります

● **受信部と照明器具を近付けすぎないでください**
照明器具が連動信号受信部から１ｍ以内に設置された場合、換気連動システムが正常に動作しないことがあります

使いかた

各部のなまえ

■ センターフード
（天井取付タイプ）

■ サイドフード
（壁面取付タイプ）

使いかた

操作スイッチ

※ レンジフードの操作には別売リモコンスイッチ（品番：RMC-04）もご使用になれます。
（リモコンスイッチでは常時換気の設定／解除、およびスイッチのロック／ロック解除はできません）

常時換気 常時換気スイッチ

本レンジフードは建築基準法による住宅の常時換気をおこなう設備として使用できます。調理やお手入れのときを除き、連続換気ができます。（風量は「弱」よりも少ない微弱モードで運転します。）

常時換気 スイッチを押すと、常時換気運転に設定されます。常時換気運転を解除するには、約3秒間押し続けます。

● 常時換気運転時（常時換気運転表示ランプが点灯）に 運転 スイッチ（弱・中・強）を押すと、レンジフード運転に切り替わり、設定された風量で運転し続けます。
切 または 3分後切 スイッチを押すと、常時換気運転に切り替わります。

※通常運転時に常時換気の設定／解除はできません。（レンジフード機能が優先されます。）
常時換気運転を設定／解除する場合は、
切 スイッチを押し、いったん通常運転を停止させてください。
専用調理機器と連動運転の場合も同様です。

3分後切 3分後切スイッチ

通常、調理が終わった後は 3分後切 スイッチを押してください。そのままの風量で約3分間運転し続けて自動的に運転を停止します（3分後切機能）。
3分間のタイマー運転により、調理の後のにおいやファンについた油汚れなどを軽減させます。

※常時換気運転が設定されている場合は、約3分後に常時換気運転に切り替わります。
※照明は消えません。照明 スイッチを押すと消えます。

長押しロック/解除
切

切スイッチ

押すと直ちに運転が停止します。（照明は消えません。）
常時換気モードに設定されている場合は、直ちに常時換気運転に切り替わります。

■スイッチの「ロック」（操作機能全てが「切」状態になります）
スイッチを「ロック」すると、スイッチを押してもファン・照明は操作できません。

長押しロック/解除 切 スイッチを約３秒間押し続けると「ピピッ」と音が鳴り、スイッチがロックされ、ファンは停止し、照明も消灯されます。
このとき、タイマー表示ランプと常時換気運転表示ランプが交互に点滅します。
この状態で 長押しロック/解除 切 以外のスイッチを押しても「ピピピ」と警告音が鳴り、ファン・照明は作動しません。また、別売リモコンスイッチによる操作もできません。

「ロック」を解除するには、もう一度「ピー」と音がするまで 長押しロック/解除 切 スイッチを約３秒間押し続けます。ロック解除後は、必要に応じて常時換気、照明、運転・風量切替スイッチを再操作してください。

※ ロック操作は調理を終え、レンジフードが十分冷めた状態でおこなってください。
※ 停電した場合やブレーカーを切った場合は、ロックは解除されます。

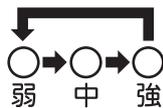
照明

照明スイッチ

スイッチを押すと照明が点灯します。
スイッチを押すたびに点灯／消灯を繰り返します。

弱　中　強
運転

運転・風量切替スイッチ

スイッチを押すたびに設定が変わり運転表示ランプが切り替わります。

弱： 煙の少ないとき。静かに運転したいとき。
中： 通常の運転のとき。
強： 煙の多いとき。早く換気したいとき。

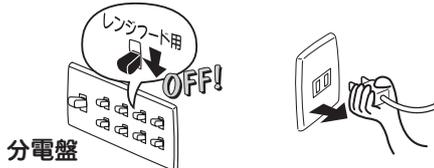
※切り忘れ防止タイマー
このレンジフードは、最後に操作したときから、約５時間運転し続けると自動的に運転を停止し、照明を消灯します。再び運転するときは、運転・風量切替スイッチを押してください。なお、常時換気モードが設定されている場合は、約５時間後に照明が消え、常時換気運転に切り替わります。

レンジフード連動タイプ専用調理機器と組み合わせてご使用になる場合

●連動調理機器を着火すると、自動的にレンジフードは「中」運転をおこないます。
この状態からレンジフードのスイッチ（切、風量切替、照明）操作がおこなえます。
●調理機器を消火した際、レンジフードは自動的に３分後に運転を停止しますが、照明や常時換気はもとのままの状態です。
●レンジフードの風量調節および照明の入／切などの操作を調理機器前面の操作パネルでもおこなえます。
（詳細については調理機器の取扱説明書をご覧ください。）
専用調理機器については当社までお問い合わせください。

お手入れのしかた

⚠警告

プラグを抜く

● **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること**
感電やけがをするおそれがあります

濡れ手禁止

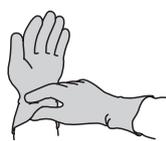
● **電源プラグはぬれた手で抜き差ししないこと**
感電やけがをするおそれがあります

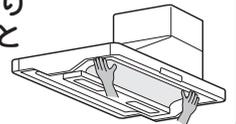
水かけ禁止

● **電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**
ショート・感電のおそれがあります

⚠注意

手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

取付注意

● **お手入れの際にはずした整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと**
落下によりけがをするおそれがあります

お手入れの際のお願い

● **調理直後のお手入れはしない**
・調理直後はレンジフードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。

● **おそうじはこまめにする**
・油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
【変質がひどいと擦っただけではがれることがあります。】
・特にアクアスリットフィルタは汚れやすいので、１ヶ月に１度程度の頻度でおそうじしてください。
早めにおそうじいただきますと、汚れも簡単に落とせると同時に塗装面の劣化も防げます。

● **中性洗剤を使う**
・おそうじの際には台所用中性洗剤をご使用ください。右図のものを使用されますと塗装面が変色したり、キズが付いたり、はがれたりするおそれがあります。
汚れがひどく、アルカリ性洗剤を使われる場合は、洗剤に表示されている使用上の注意をよくお読みになって、目立たないところで試してからご使用ください。

レンジフードの油汚れ落としに最適な、当社推奨の弱アルカリ洗剤「サットレールスプレー」、「サットレールシート」があります。
お申し込み・お問い合わせは裏表紙をご覧ください。

スポンジタワシの硬い面　アルコール　ベンジン　アルカリ性洗剤　殺虫剤　クレンザー　かびとり剤　シンナー　研磨剤入りタワシ　金属タワシ

● **熱湯は変形のもと**
・６０℃以上の熱湯は使用しないでください。樹脂部品が変形するおそれがあります。

● **専用のアクアスリットフィルタ（製品にあらかじめセットしてあるもの）を使う、他のフィルターを重ねない**
・専用のアクアスリットフィルタ以外のフィルターを使用したり、他のフィルターを重ねたりすると、通気抵抗が大きくなり、吸い込み不良や異音発生、故障などの原因になるおそれがあります。

● **ファンを変形させない**
・ぶつけたり、落としたりして変形したファンで運転すると、振動や異音が発生するおそれがあります。

● **ファンをはずした状態では運転しない**
・ファンをはずした状態で運転しないでください。モーターが過熱して故障の原因になります。

● **食器洗い乾燥機は使用しない**
・取りはずした部品は食器洗い乾燥機で洗わないでください。塗装がはがれるおそれがあります。

ファン内部の汚れがひどい場合には、有償にて清掃を承っております。
お問い合わせは裏表紙をご覧ください。

お手入れのしかた

取りはずしのしかた

⚠ 注意

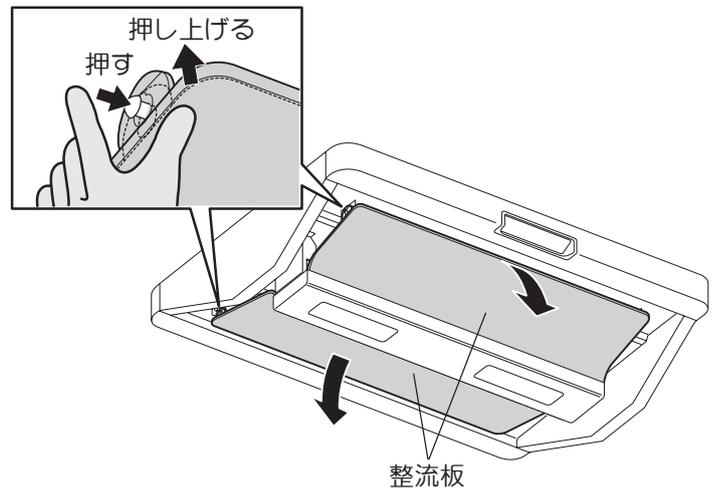
落下注意

- 整流板を落とさないように両手でしっかりと支えること
- 整流板を本体から取りはずさずに、右図のような状態でお手入れをしないこと

落下するとけががをしたり、部品のキズ・変形の原因になります

1 整流板をはずします（前•後面２枚あります）。

※　調理直後には整流板が熱くなっている場合がありますので、その場合は十分温度が下がってからお手入れしてください。

1）整流板を左右から両手で支え、少し押し上げます。
2）左右にある２つのストッパーを指で押し込みます。
3）整流板の前側を手前に引き下ろします。
4）整流板の奥側を上に持ち上げるようにしてはずします。

お願い

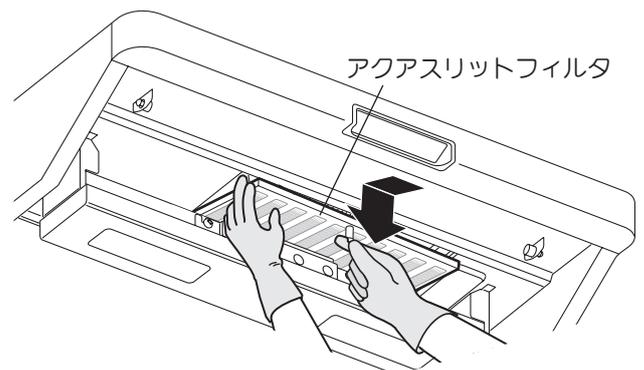
●取りはずしの際は、整流板に油がたまっている場合がありますので、油ダレに十分ご注意ください。
●整流板のお手入れの際は、整流板や金具を変形させせないようにご注意ください。
変形させてしまった場合、整流板が取り付かなくなるおそれがあります。

2 アクアスリットフィルタをはずします。

1）アクアスリットフィルタのツマミを持ち、奥側へ押し込みます。

2）手前に取り出します。

お願い

●アクアスリットフィルタをはずす際は、必ず手を添えてください。添えないと手前に落下し、けがをするおそれがあります。

お手入れのしかた

3 センターカバーをはずします。

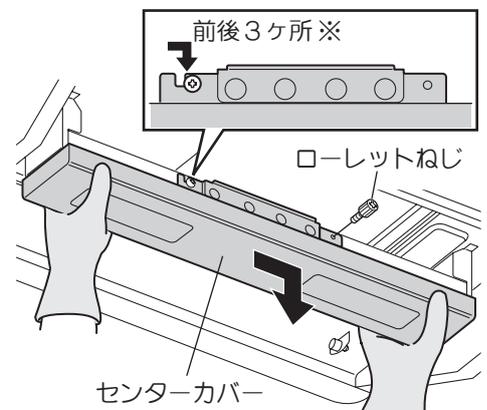
⚠ 注意

● **後面の整流板を必ずはずすこと**
整流板を付けたままセンターカバーをはずすと、整流板が急にはずれ、思わぬけがをしたり、部品のキズ・変形の原因になります

1）正面（スイッチ側）のローレットねじをはずします。
※ ローレットねじはなくさないようにご注意ください。

2）センターカバーを右へスライドさせながら下げて取りはずします。
※ 前後３ヶ所のフックで固定されていますが、カバーをスライドさせるとはずれます。ねじをはずす必要はありません。

お願い

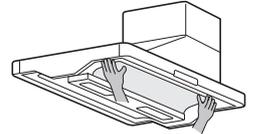
●取りはずす際は、中にたまった油をこぼさないように水平に持ち、ゆっくりとはずしてください。
特に冬期など気温の低い状況では結露水がたまりやすくなりますのでご注意ください。

お手入れのしかた

組み立てのしかた

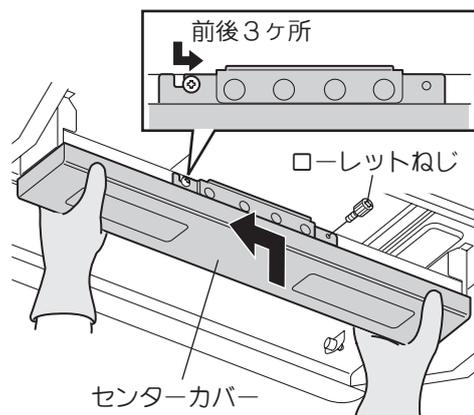
警告

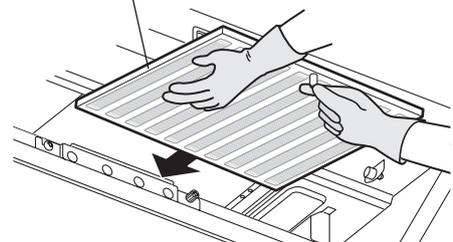
●お手入れの際にはずした整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと

取付注意

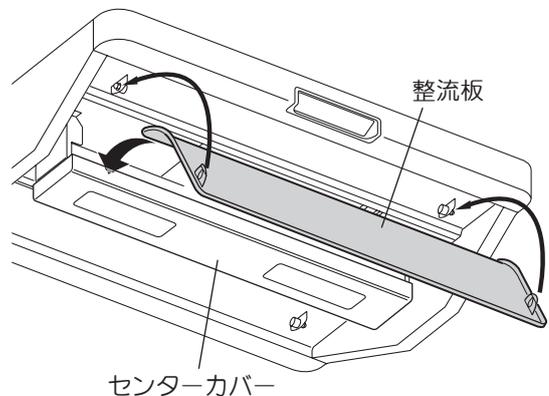
落下によりけがをするおそれがあります

1 センターカバーを取り付けます。

1）センターカバーのフック部分（３ヶ所）を本体のねじに差し込み、左へスライドさせます。

2）ローレットねじを締めつけます。

2 アクアスリットフィルタを取り付けます。

アクアスリットフィルタの奥側下部を本体の板バネに押し付けながら取り付けます。

3 整流板を取り付けます。

1）整流板の奥側をセンターカバーに差し込みます。

2）整流板の手前側を持ち上げながら、本体左右のストッパーに整流板がきちんとはまるまで（パチンと音がするまで）押し上げます。

お願い

●取り付け後、整流板を軽く上下に動かしてみて確実に取り付けられたことを確認してください。

※完了後はブレーカーを入れてください。

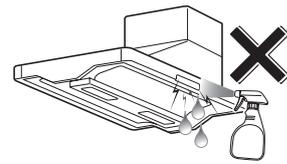
お手入れのしかた

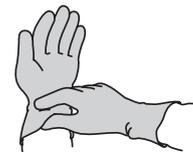
お手入れのしかた

取りはずしのしかた、組み立てのしかたは９～11 ページをご参照ください。

⚠警告

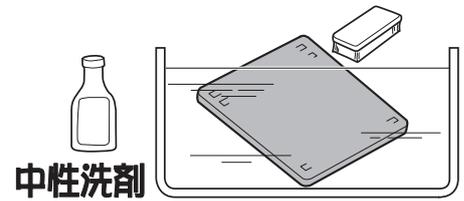
水かけ禁止

● **電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**
ショート・感電のおそれがあります
⚠注意

手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

こまめにおそうじしてください。
特にアクアスリットフィルタは汚れやすいので、１ヶ月に１度程度の頻度でおそうじしてください。
油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
早めにおそうじいただきますと、汚れも簡単に落とせますし、塗装面の劣化も防げます。

お手入れのしかた

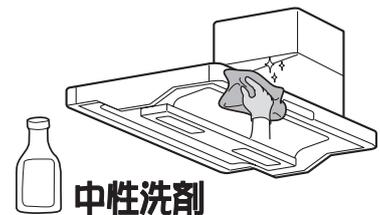
■ アクアスリットフィルタ

（汚れたらその都度お手入れしてください。 目安:１ヶ月に１回程度）
中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸したのち、表面のやわらかい布やスポンジなどで洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。

中性洗剤

お願い

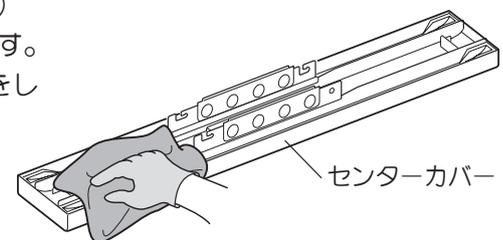
● アクアスリットフィルタはこまめにおそうじしてください。
目詰まりを放置すると、換気不良や異音･振動の原因になります。

■ 本体・整流板

（汚れたらその都度お手入れしてください。 目安：１ヶ月に１回程度）
ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を表面のやわらかいスポンジや布に含ませ、汚れを拭き取ってください。
その後、洗剤が残らないように水で湿らせた布でよく拭き取ってください。

お願い

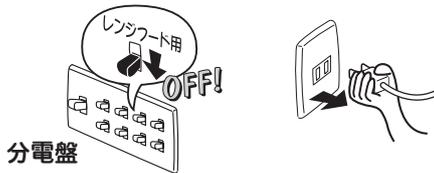
● はずした整流板は平らな面でお手入れしてください。
変形・キズの原因になります。
● 本体下端部は特に汚れが付きやすいのでこまめに拭き取ってください。

■ センターカバー

（汚れたらその都度お手入れしてください。 目安：１ヶ月に１回程度）
センターカバーは本体に取り付けたまま、お手入れすることができます。
内面などをよりきれいにおそうじする場合には、はずしてお手入れをしてください。

お手入れのしかた

ファンのお手入れのしかた

⚠警告

プラグを抜く

● **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること**
感電やけがをするおそれがあります

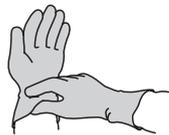
● **電源プラグはぬれた手で抜き差ししないこと**
感電やけがをするおそれがあります

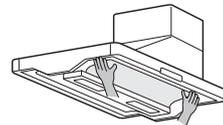
水かけ禁止

● **電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**
ショート・感電のおそれがあります

⚠注意

手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

取付注意

● **お手入れの際にはずした整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと**
落下によりけがをするおそれがあります

汚れがひどい場合でファンもお手入れする場合には次ページの手順でおこなってください。

お手入れのしかた

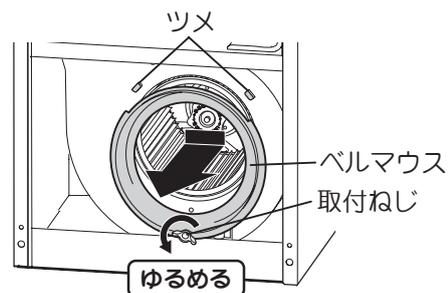
■ ファンのはずしかた

センターフード（天井取付タイプ）の場合

1 **前蓋をはずします。**

前蓋上部はツメで、下部はローラーキャッチで取り付いています。
前蓋下部を手前に引いてローラーキャッチからはずしたあと、やや下方に引くと前蓋上部のツメ（２ヶ所）がはずれます。

2 **ベルマウスをはずします。**

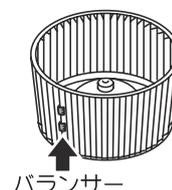
ベルマウスの取付ねじ１ヶ所を手でゆるめ、ベルマウスをスライドさせて２ヶ所のツメからはずします。

3 **ファンをはずします。**

ファンが回らないように軽く手で押さえ、ツマミを「ゆるむ」（時計回り）の方向に回してはずしたあと、ファンを取り出します。

※ファンは軽く押さえてください。
（強く押さえると変形するおそれがあります。）

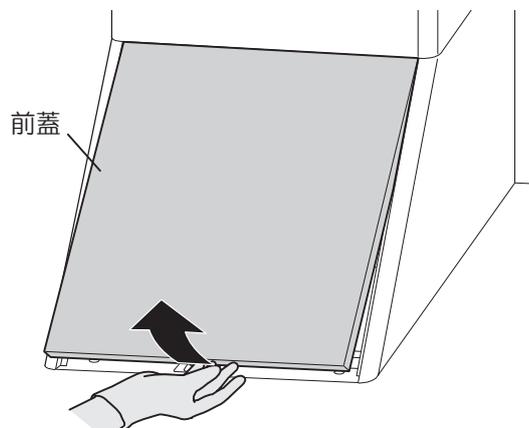
お願い

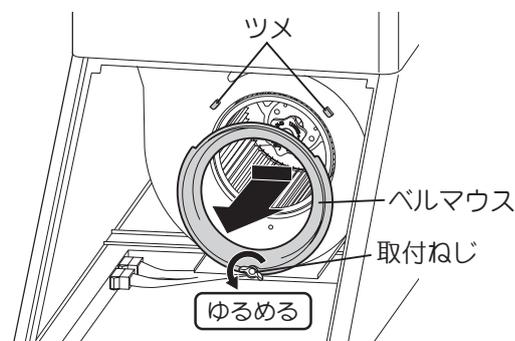
- ファンを強く押さえたり、ぶつけたり、落としたりして変形させないでください。
（異常音や振動の原因になります。）
- ファンの回転バランスをとるために、バランサー（重り）がついている場合がありますが、絶対にはずさないでください。
（バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異常音の原因になります。）

1302 6681

お手入れのしかた

サイドフード（壁面取付タイプ）の場合

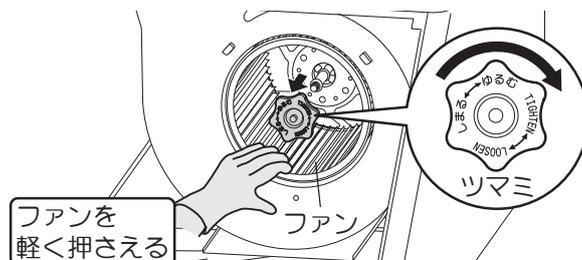
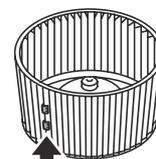
1 **前蓋をはずします。**

前蓋上部はツメで、下部はローラーキャッチで取り付いています。
本体斜面部分の下側に指先を入れて引き上げ、前蓋を取りはずします。

2 **ベルマウスをはずします。**

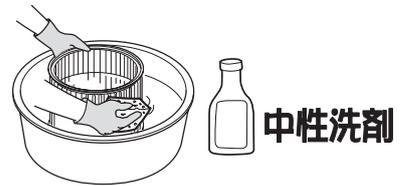
ベルマウスの取付ねじ１ヶ所を手でゆるめ、ベルマウスをスライドさせて２ヶ所のツメからはずします。

3 **ファンをはずします。**

ファンが回らないように軽く手で押さえ、ツマミを「ゆるむ」（時計回り）の方向に回してはずしたあと、ファンを取り出します。

※ファンは軽く押さえてください。
（強く押さえると変形するおそれがあります。）

お願い

- ファンを強く押さえたり、ぶつけたり、落としたりして変形させないでください。
（異常音や振動の原因になります。）
- ファンの回転バランスをとるために、バランサー（重り）がついている場合がありますが、絶対にはずさないでください。
（バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異常音の原因になります。）

お手入れのしかた

■ ファンの洗いかた

ファンを本体からはずし、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないよう水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。

■ ファンの取り付けかた

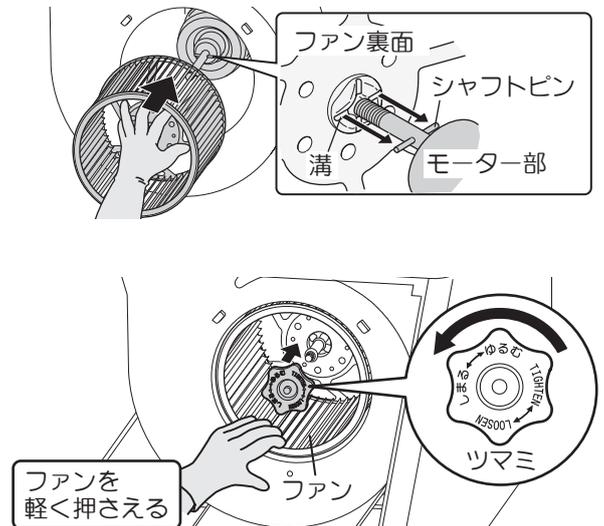
1 **ファンを取り付けます。**

1）ファン裏面の溝がモーター部のシャフトピンに合うように差し込みます。

お願い

●ファン裏面の溝がシャフトピンに合うように確実に差し込んでください。（溝がシャフトピンに合っていないと異常音や故障の原因になります。）

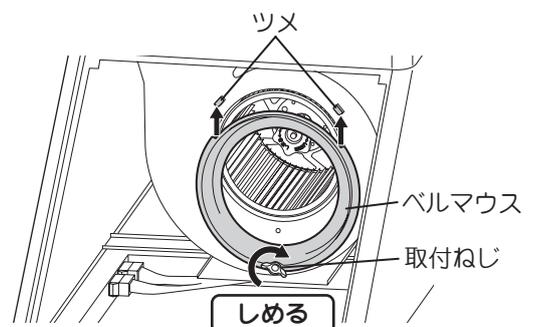
2）ファンが回らないように軽く手で押さえ、ツマミを「しまる」（反時計回り）の方向に回して締め付けます。

※ ファンは軽く押さえてください。
（強く押さえると変形するおそれがあります。）

2 **ベルマウスを取り付けます。**

ベルマウスを２ヶ所のツメに差し込み、取付ねじを締め付けます。
ベルマウスを取り付けてから、ファンを手で回してこすれ音などがないことを確認してください。

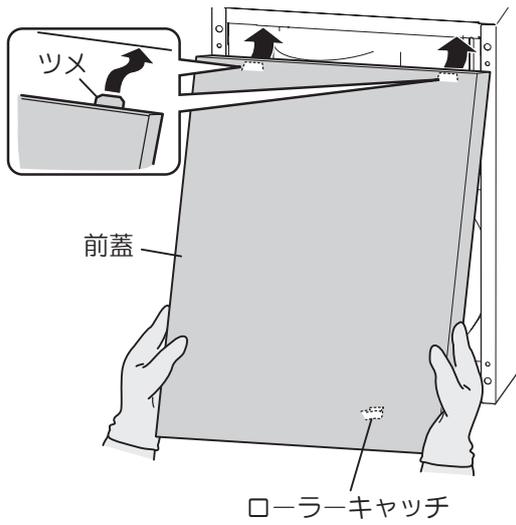
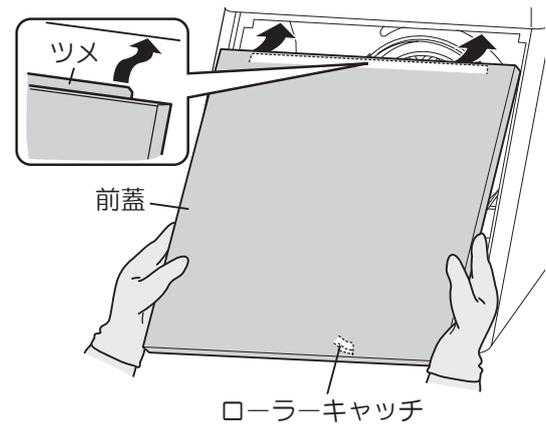
お願い

●ファン・ベルマウスは確実に取り付けてください。
（異常音や故障の原因になります。）

1302 6681

お手入れのしかた

3 **前蓋を取り付けます。**

前蓋上部のツメ（２ヶ所）を本体フランジ部に引っ掛けたあと、下部をローラーキャッチに「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

センターフード（天井取付タイプ）の場合

サイドフード（壁面取付タイプ）の場合

※完了後はブレーカーを入れてください。

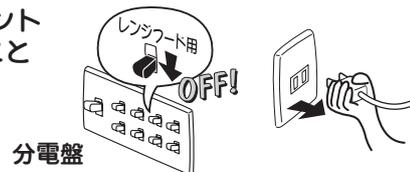
お手入れのしかた

ランプ交換のしかた

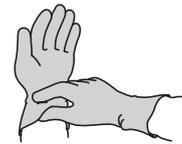
本製品は低消費電力で長寿命が特長のLED照明を使用しておりますが、ご使用のランプが切れたときや照明がつかない場合は、お客様ご相談窓口までお問い合わせください。（裏表紙参照）

⚠ 警告

プラグを抜く

● **ランプ交換の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること**
感電やけがをするおそれがあります

⚠ 注意

手袋をする

● **ランプ交換の際は、必ず厚手の手袋をすること**
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

使用禁止

● **指定以外のランプを使わないこと**
ランプカバー周辺が高温となり、やけどをするおそれがあります
また、火災や故障の原因になります

高温注意

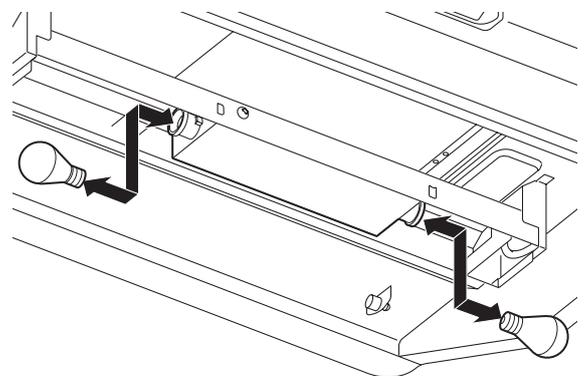
● **ランプ交換の際は、ガラスやランプが十分冷めてからおこなうこと**
やけどをするおそれがあります

1 **整流板とセンターカバーをはずします。**
（9～10ページの取りはずしのしかたを参照してください。）

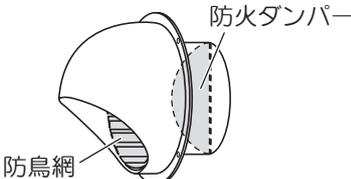
2 **ランプを交換します。**
切れたランプを取りはずし、ソケットに新しいランプを確実に固定します。

3 **センターカバーと整流板を取り付けます。**
（11ページの組み立てのしかたを参照してください。）

※完了後はブレーカーを入れてください。

1302 6681

故障かなと思ったら

修理を依頼されるまえに　次の点をもう１度お調べください。

症　状	考えられる原因	処　置
● スイッチを入れてもファン・照明の電源が入らない。 ● ファンがまわらない。	● 分電盤のブレーカーが「切」になっている。 ● 電源プラグがはずれている。 ● ロック状態になっている。	● 分電盤のブレーカーを「入」にする。 ● 電源プラグを差し込む。 ● ロックを解除する。（7ページ参照）
● 照明がつかない。	● ランプが切れている。 ● ランプ回路の異常。	● 修理を依頼する。 ● 修理を依頼する。
● 異常音がする。	● ファンのツマミがゆるんでいる。 ● ベルマウスの取付ねじがゆるんでいる。 ● ファンの取り付けが不十分。 ● アクアスリットフィルタが汚れて目詰まりしている。 ● 外からの給気が十分でない。	● ファンのツマミを締め直す。 ● ベルマウスの取付ねじを締め直す。（17ページ参照） ● ファンを取り付け直す。（17ページ参照） ● アクアスリットフィルタをそうじする。（13ページ参照） ● 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。
● 吸い込みが悪い。	● 市販のフィルターを重ねている。 ● アクアスリットフィルタが汚れて目詰まりしている。 ● 外からの給気が十分でない。 ● エアコンや窓からの風で煙が横にもれる。 ● 屋外のベントキャップの防鳥網が目詰まりしている。 ● 屋外の防火ダンパーが閉じていて、排気されない。 	● 市販のフィルターをはずす。 ● アクアスリットフィルタをそうじする。（13ページ参照） ● 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。 ● 風があたらないようにする。 ● 修理を依頼する。 ● 修理を依頼する。
● リモコンスイッチを操作しても動作しない。（別売リモコンを使用している場合）	● 電池が消耗している。 ● 電池の向きが間違っている。 ● リモコンの発信部や本体操作スイッチの受信部が油で汚れている。 ● ロック状態になっている。（ロック状態ではリモコンスイッチを押すと「ピピピ」という音がします。）	● 電池を交換する。 ● 電池を正しく入れる。 ● 発信部・受信部をそうじする。 ● ロックを解除する。（7ページ参照）
● 運転が止まらない。	● 常時換気モードが設定されている。	● 常時換気モードを使用しない場合は設定を解除する。（6ページ参照）

仕 様

モデル	定格電圧 (V)	ノッチ	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量（m^3/h）		騒音 (dB)
					0Pa 時	100Pa 時	
サイドフード（壁面取付タイプ） センターフード（天井取付タイプ）	100	強	50	27	460	460	36
			60				
		中	50	13	300	—	29
			60				
		弱	50	8	150	—	20
			60				
		常時換気	50	6	100	—	18
			60				

（最大電力　76W）

消費電力、風量、騒音の測定は JIS C 9603 による。
騒音値、風量は実際の使用条件では変化しますのでご了承ください。
レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

アフターサービス（必ずお読みください）

補修用性能部品の最低保有期間

●当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切り後６年間保有しています。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●製品の保証期間は、お買い上げ後取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従った正常なご使用状態において１年間です。
ただし、次の場合には保証期間内でも有料になります。
(1)　火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等不慮の事故により生じた故障および損傷。
(2)　使用上の誤り、改造等による故障および損傷。

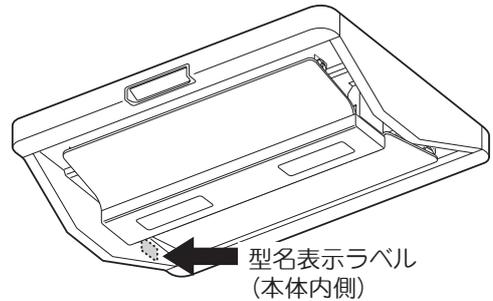
1302 6681

修理を依頼されるときは

20 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときはご使用を中止し、必ず電源プラグを抜くか、分電盤のブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
品　名	レンジフード
型　名	
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

お買い上げの際に記入しておくとサービスを依頼されるときに便利です。

レンジフードの型名は、本体の左側面内側に表示してあります。

愛情点検

★長年ご使用の製品の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？	● スイッチを入れても、動かないときがある。 ● 運転中に異常な音や振動がある。 ● 焦げ臭いにおいがする。 ● その他、異常・故障がある。

ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、ブレーカーを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- 技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料は、お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※ 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。

（設計上の標準使用期間とは）

※ 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※ 設計上の標準使用期間は、無償保障期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。
【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件　　日本工業規格 JIS C 9921-2 より引用

環境条件	電圧	単相　100V	
	周波数	50Hz 又は／及び60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	JIS C 9603参照
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間a) 台所　2 410時間／年	
注a)	常時換気（24時間連続換気）のものは、8 760時間／年とする。		

お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社および当社関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

1．当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

2．当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。

3．お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

修理依頼について

修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店、またはシステムキッチンメーカーにご連絡ください。

お客様メモ	購入店名　　電話　（　　）
	（システムキッチンメーカー名：　　）
	ご購入年月日　　平成　年　月　日

『サットレールスプレー』『サットレールシート』の
お取り扱い窓口は
フジテックメンテナンス株式会社

お申し込み・お問い合わせ　0120－953－903
ＦＡＸ　042－768－3383
ホームページ　http://www.satlehl.jp/
受付時間 ９：００～１７：４５（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）

〔製造元〕 富士工業株式会社
〒252-0206 相模原市中央区淵野辺２丁目１－９

お客様ご相談窓口　0120－071－686
受付時間 ９：００～１８：００（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）